

科目分類	専門分野Ⅱ	開講年次・時期	1年次 9月～12月		
科目名	老年看護学概論	単位数	1単位	時間数	30 時限
担当講師 (実務経験)	専任教員 (老年看護領域臨床実務経験あり)	講義時限	28 時限	試験時間・配点	90分 100点

◆学習目標

老年期の意味や加齢による身体的、心理的、社会的変化を理解し、高齢社会の現状、高齢者のライフスタイルやニーズを知り、老年看護の概念と目標、役割を理解する

回	授業内容	授業方法	学習課題
第1回	ガイダンス 第1章 老いるということ、老いを生きるということ 1. 老いを学ぶ入口 2. 老いるということ	講義・パワーポイント 「高齢者に対するアンケート」 グループワーク 「高齢者へのイメージ」	教科書①
第2回	1章 老いるということ、老いを生きるということ 3. 老いを生きるということ ①老年期とは ②高齢者の発達課題 ③老いを生きる人々へのまなざし	講義・パワーポイント DVD 視聴	教科書① 心理学、人間関係論、成人看護学概論で学習したエリクソンの発達課題について復習
第3・4回	第2章 高齢社会と社会保障 1. 高齢社会の統計的輪郭 ①わが国の高齢化 ②高齢者のいる世帯 ③高齢者の健康状態 ④高齢者の暮らし	講義・パワーポイント 動画視聴20分 「山谷の天使たち」	教科書① 教科書③国民衛生の動向
第5・6回	第2章 高齢社会と社会保障 2. 高齢社会における保健医療福祉の動向 ①高齢者とソーシャルサポート ②保健医療福祉システムの構築 ・保健医療福祉制度の変遷 ・介護保険制度の整備 ・高齢者医療の新しいしくみ ③高齢者を支える職種と活動多様化	講義・パワーポイント 講義・パワーポイント DVD 視聴 「介護保険制度」	教科書① 教科書③国民衛生の動向 教科書① 教科書③ 国民衛生の動向
第7・8回	3. 高齢社会における権利擁護 ①高齢者に対するスティグマと差別 ②高齢者虐待 ③身体拘束 ④権利擁護のための制度 ・成年後見人制度 ・日常生活自立支援事業 * 高齢者疑似体験オリエンテーション	講義・パワーポイント グループワーク DVD視聴30分 「私たちの声が聴こえますか」	教科書① 教科書③国民衛生の動向 成人看護学概論、在宅看護論の 社会保障制度との関連
第9回	高齢者疑似体験 ・加齢に伴う身体的変化を実際に体験し理解する。 * 詳細については、事前にオリエンテーションを行う。	演習 グループワーク	高齢者疑似体験後の個人レポート提出
第10回	第3章 老年看護の基盤 ①老年看護のなりたち ②老年看護の役割 ③老年看護に携わる者の責務 * 冬期休暇課題の提示	講義・パワーポイント	教科書①

第11回 第12回	第4章 高齢者のアセスメント 1. 身体の高齢変化とアセスメント ①看護師が行うフィジカルアセスメント ②外皮系 ③感覚器系 ④循環器系 ⑤呼吸器系 ⑥消化器系 ⑦内分泌系 ⑧泌尿器系 ⑨運動器系	講義・パワーポイント DVD 視聴 講義・パワーポイント	教科書① 教科書②老年看護 病態・疾病論 〈事前課題〉 皮膚、眼、心臓、肺の解剖を復習し講義に臨む
第13回 第14回	第4章 高齢者のアセスメント 2. 高齢者によくみられる身体症状とアセスメント ①発熱 ②痛み ③掻痒(かゆみ) ④脱水 ⑤嘔吐 ⑥浮腫 ⑦倦怠感	講義・パワーポイント DVD 視聴	教科書① 教科書②使用 〈事前課題〉 教科書①P100～114 まで読んで講義に臨む
第15回	試験	筆記試験	

◆教科書

- ①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院
- ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院
- ③国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会

◆参考文献

- ①老年看護学 概論と看護の実践 ヌーベルヒロカワ
- ②老年看護学 高齢者看護の実践 ナーシング・グラフィカ

◆成績評価の方法 筆記試験 90% 授業態度・グループワーク参加態度・忘れ物・提出物の期限 10%

◆その他

講義に必要な資料は適宜配布する。
必要時、講義前、終了後理解度を確認するために、ミニ問題を実施する。

◆皆さんへのメッセージと関連科目

高齢者の問題は、現在超高齢社会を迎えるにあたって、私たちの身近にたくさんあります。自分自身の将来の問題として興味を持って考えていく必要があります。そのためには、ニュース、新聞で報道されている高齢者に関する情報・問題に目を向けて興味・関心を持って知ろうとする姿勢が求められます。日頃から高齢者に関心を持ち、生活する習慣を付けてください。また、解剖生理学、疾病と治療、人間関係論、心理学の既習の知識や、現在進行中の成人看護学概論、これから学ぶ在宅看護論の学習と関連させて講義に臨むことで、高齢者への理解が深まりますので、復習・予習しながら講義に臨んで下さい。

科目分類	専門分野Ⅱ	開講年次・時期	2年次 6月～7月		
科目名	老年看護学園援助論Ⅰ (高齢者の健康生活と看護)	単位数	1単位	時間数	15時限
担当講師 (実務経験)	看護師(老年看護領域臨床実務 経験あり)	講義時限	14時限	試験時間・配点	45分 100点

◆学習目標

老年期にある対象の生活上の問題を理解し、看護を実践するための知識を得る。

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	生活の基本となる日常生活動作 基本動作と環境の理解と看護	講義	高齢者に起こりやすい 生活上の問題
	2	日常生活活動(動作)の評価指標 店頭のアセスメントと看護	講義	1. 基本姿勢と環境の 問題を理解でき る。
	3	廃用症候群のアセスメントと看護 食事・食生活に注目する意義	講義	2. 転倒リスクと防止 の具体策を理解す る。
	4	摂食・嚥下機能のアセスメント 食事に対する看護 摂食・嚥下リハビリテーション	講義	3. 廃用症候群予防の 重要性とその方法 を理解する、
	5	排泄ケアの基本姿勢 排泄障害のアセスメントと看護 排尿・排便障害のアセスメントと看護	講義	4. 嚥下のメカニズム と誤嚥防止を理解 する。
	6	清潔の意義と高齢者に特徴的な変調と看護	講義	5. 排泄障害とケアを 理解する。
	7	高齢者の生活リズムと整える看護 高齢者に特徴的な変調と看護 高齢者に起こりやすいコミュニケーション障害と看護	講義	6. 高齢者のスキント ラブルと援助につ いて理解する。
	8	筆記試験		7. 高齢者とコミュニ ケーション障害の 現実と援助につ いて理解する。

◆教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院

◆参考文献

- ①高齢者救急(急変予防&対応ガイドブック) 医学書院
- ②高齢者看護トータルナビ メディカル出版

◆成績評価の方法 筆記試験 100点

科目分類	専門分野Ⅱ	開講年次	2年次 5月～11月		
科目名	老年看護学援助論Ⅱ (疾病・障害をもつ高齢者の看護)	単位数	1 単位 (2 単元)	時間数	30 時間
担当講師 (実務経験)	看護師(認知症看護認定) 外部講師	講義時間	28 時限目	試験時間・配点	90 分 100 点

◆学習目標

- I ①高齢者の特徴・疾病・障害を踏まえ、健康逸脱からの回復期と終末期において高齢者とその家族を支える看護が展開できる。
- II ①認知機能の障害を持つ人や在宅高齢者に対する看護において、全人的理解ができる。
 ②生活・療養の場において、多職種と連携して、地域資源を活用した看護が展開できる。
 ③高齢者のリスクマネジメントでは、専門職として医療安全と災害看護を重視することができる。

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	I 【導入】単元の基盤となる高齢者の特徴を再度学習するとともに、単元を通して必要な老年看護の視点・捉え方を確認する。 1. 加齢と老化・高齢者の特徴(復習) ・質問しながら単元の基盤となる高齢者の特徴を復習し共通理解を図る。 2. 老年看護における看護師の役割(復習) ・家族(祖父母・両親)が入院したら、自分が高齢者となり入院したら何をしてほしいかを各自話し合い、そこから必要な看護を具体化・イメージする。	講義 グループワーク	
	2	1. 検査と看護 2. 栄養ケア・マネジメント ・スプーンテクニックの演習	講義 演習	
	3	1. 薬物療法と看護 2. 放射線療法・化学療法と看護	講義 講義	
	4	1. 手術療法と看護	講義	
	5	1. 疾患をもつ高齢者への看護 1) 脳卒中 2) 心不全 3) パーキンソン病・パーキンソン症候群	講義	
	6	4) インフルエンザ 5) 肺炎 6) 感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症) 7) 骨粗鬆症 8) 骨折 9) 褥瘡		
	7	1. 終末期における看護	講義	
	8	II 6章 健康逸脱からの回復を支える看護 C. 認知機能障害のある高齢者の看護 ①うつ ②せん妄	座学 資料「新病名」 資料「自立度判定基準」	教科書該当ページを講義前に読む
	9	③認知症 ・認知症とは * 演習「生活支援の理解」 ・認知症の症状 ・認知症の診断・治療と予防	座学・演習 資料「認知を正しく知っているか」 資料「FAST」「新オレンジプラン」 演習 グループワーク	教科書該当ページを講義前に読む 自己の日々の生活で大切なものは何かを考えてくる

10	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症機能および生活機能の評価 ・認知症の看護 ◎コミュニケーションの方法 * 演習「<u>コミュニケーション技術の実際</u>」 * DVD「<u>一人の心を見つめるケア</u>」 	資料「認知症ケアパス」 座学・演習・DVD 視聴 資料「 <u>フィリングの世界</u> 」 資料「 <u>ムービアン</u> の法則」 演習 <u>ポスト・イット使用</u>	教科書該当ページを講義前に読む コミュニケーション技術について考えてくる
11	第9章 生活・療養の場における看護 A. 高齢者とヘルスプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・老年期のヘルスプロモーション・介護予防とヘルスプロモーション ・「住み慣れた場所で最期まで」を実現する地域包括ケア B. 保健医療福祉施設および居住施設における看護 ①介護保険施設 ②地域密着型サービス③住まい	座学 資料「SOS ネットワーク」 「 <u>地域包括支援センター</u> 」 資料「 <u>がんばらない</u> 」	教科書該当ページを講義前に読む
12	C. 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族への看護 ①家族の生活と健康 ②家族への援助 * 音読「 <u>手紙</u> 」 D 多職種連携実践による活動	座学・音読 資料「 <u>家族の気持ち</u> 」 資料「 <u>手紙</u> 」	教科書該当ページを講義前に読む
13	第10章 高齢者のリスクマネジメント A. 高齢者と医療安全 P406 セミナール 演習「 <u>転倒予防のための援助</u> 」 B. 高齢者と救命救急	座学・演習 演習 <u>グループ・ワーク</u> 模造紙・マーカー・ポスト・イット使用	教科書該当ページを講義前に読む 家族の思いを推測する
14	C 高齢者と災害 * 演習 『 <u>高齢者の避難生活で考慮しなければならないことは？</u> 』	座学・演習 資料「 <u>災害警報発令について</u> 」 資料「 <u>避難所でがんばっている認知症の人家族への支援ガイド</u> 」 資料「 <u>避難所での認知症の人や高齢者の健康管理</u> 」 演習「 <u>マンダラシート</u> 」で <u>グループ・ワーク</u>	教科書該当ページを講義前に読む 該当ページセミナーを講義前に読む 高齢者の避難生活で、考慮しなければならないことを考えてくる
15	筆記試験		

◆使用教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院

◆成績評価の方法 筆記試験と出席状況・授業態度・グループワーク参加態度・忘れ物・提出物の期限

科目分類	専門分野Ⅱ	開講年次・時期	2年次 9月～12月		
科目名	老年看護学援助論Ⅲ (看護援助技術)	単位数	1単位	時間数	15時限
担当講師 (実務経験)	専任教員 (老年看護領域臨床実務経験あり)	講義時限	14時限	試験時間・配点	45分100点
<p>◆目的 健康上の問題をもつ高齢者とその家族に対して、看護実践に必要な看護技術を修得する。</p> <p>◆学習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老年看護技術の特徴を理解する。 2. 老年看護に応用する看護技術の知識を理解する。 3. 老年看護過程と特徴を理解する。 4. 加齢による生活障害に関連して必要となる主要な看護技術を学び、高齢者や家族に対する実際の看護援助の方法を学ぶ。 					
	回	授業内容	授業方法	学習課題	
講義	第1回	ガイダンス Ⅰ. 老年看護学における看護技術の考え方 1. 老年看護技術とは 2. 老年看護の機能と看護技術の特徴 3. 生活機能の概念	講義・DVD		
	第2回	Ⅱ. セラピューティックケア * 担当講師:外部講師	講義・演習		
	第3回	Ⅱ. 老年期の看護過程 1. 老年期の看護過程の基本的な考え方 2. 看護過程の展開 Ⅲ. 介護者・家族への対応技術	講義		
グループワーク	第4回	Ⅳ. 看護過程事例に沿った演習計画の立案(高齢者と家族への看護)	グループワーク		
	第5回	Ⅳ. 演習計画立案グループ成果発表	グループワーク 発表		
	第6回	Ⅳ. 立案した看護計画に基づいたロールプレイグループ看護技術演習課題への取り組み	グループワーク	* 演習技術項目 ・コミュニケーション ・食事(嚥下障害のある) ・排泄 ・活動、転倒 ・家族への看護 ・社会資源の活用	
	第7回	Ⅳ. 立案した演習計画に基づいたロールプレイグループ看護技術演習取り組みの成果発表 * 各グループで、演習計画の1場面を取り上げ、ロールプレイを実施する。	グループワーク 発表	* 各グループは、事前に直ぐにロールプレイを実施できるよう、各役割に準じて服装、使用物品、ベッド環境を準備する。	
	第8回	試験	筆記試験		
<p>◆教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> ①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院 					
<p>◆参考文献</p> <ol style="list-style-type: none"> ①老年看護学 概論と看護の実践 ヌーベルヒロカワ ②老年看護学 高齢者看護の実践 ナーシング・グラフィカ⑦ 					
◆成績評価の方法 筆記試験 90% 授業態度・グループワーク参加態度・忘れ物・提出物の期限 10%					